

共栄社

無人芝刈りで超省力

人手不足解消に大きな力



林社長

共栄社 林秀訓社長、愛知県豊川市美幸町1-26は、バロネス無人芝刈機 ULM272 の拡販に注力している。また9月よりラフ用無人芝刈機 ULM272 の販売を始める。共にボタンを押すだけで、熟練スタッフの技術を再現し、超省力作業を可能にする。10月9・10日に吹田市の万博公園で開催される第41回芝地用管理機械・資材総合展示会でその性能を披露する。

「バロネス無人芝刈機 ULM272」
同機の大きな特長は、イーチ・MAP方式の採用。通常作業と同様に人

が機械に乗って作業を記録させることで、誰でも高い技術を忠実に再現できる。走行経路、モアユニットのアップダウン、車速、エンジン回転数のホールに渡る無人作業



無人芝刈機「ULM272」



ラフ用無人芝刈機「UGM170」

も可能。記憶した作業を再現するプレイバックの誤差は±5cm。夜間や霧などの厳しい時期、霧などで見通しが悪い時でも、条件を選ばず作業ができ、労働負荷の軽減、人手不足解消に貢献する。

カラー液晶。イラストと文字で表示され、操作項目が一目で分かるタッチパネルタイプ。無人での走行・刈り込み・機械のセッティング、バックラッピングまで操作可能。プレイバック時にはスタート位置までの距離、車の向きまで確認できる。バロネスリールカッターは切れ味の良さで高い耐久性を兼ね備え、9ホール連続して同じクオリティの刈り上がりを実現する。

【ULM272の主な仕様】
▽寸法 全長316×全幅293（作業時）
・228（移動時）×全高233（ルーフ）
・162（ステアリング）
▽重量 1849kg
▽最小回転半径 349cm
▽定格出力 49・6PS/2600rpm
▽燃料タンク容量 25.4cm
▽無人運転速度 前進（4WD）0～8.0
・後進 0～3.0km/h
▽無人運転率 1万6255

6㎡/h。
「バロネスラフ用無人芝刈機 UGM170」共栄社とリソルグループは、独自の無人化テクノロジを搭載したラフ用無人芝刈機に関する共同研究を行ってきたが、このほど、無人機シリーズの第2弾として、ゴルフ場で最も広い面積を持ち、傾斜も多いラフを対象とした無人芝刈機を9月よりテスト販売する。

同機は3連ロータリーアで独自の無人化テクノロジを採用し、これまで無人運転が難しかった木立周辺や木に覆われたエリアでも、無人走行が可能。さらに従来のGPSも搭載しており、様々な場所でゴルフ場管理の無人化が実現できる。

就業後の夕方から夜間に無人作業を行うことで、スタッフの負担を軽減し、他の業務への振り分けが可能。また転倒のリスクがある傾斜地でも、無人芝刈機なら安全

に作業ができる。単なる省力化だけではなく、安全な作業環境の実現にも寄与する。

同社では「バロネスラフ用無人芝刈機は、ゴルフ場で最も広い面積をもつラフのグリーンマネジメントに貢献し、作業スタッフの人員不足」という、ゴルフ場の抱える大きな課題を解決したい」としている。